

December 2005



火星とおうし座の星団

今年は火星が地球に接近する年で、10月30日に約6800万kmまで近づきました。2年前の大接近よりも見かけの大きさは小さいものの、高度が高くなったため空気のゆらぎの影響が少なくなり、模様がよく見えました。そのころの火星はおひつじ座とおうし座の境界付近にありましたが、ちょうどおうし座の星団が近くにあったため、記念写真を撮ってみました。右の明るい星が火星で、上の星の集まりがプレアデス星団（すばる）、左の大きく広がった星の群れはヒヤデス星団です。ヒヤデス星団の左の明るい星は1等星アルデバランです。火星は来年2月中旬にプレアデス星団の南を通ります。

さて、この写真に写っている MyStars 登録星は約260個です。写っている範囲はおうし座の西半分、おひつじ座の東3分の1、オリオン座の北西の一部、くじら座の北東の一部ですが、この付近を登録している方は自分の星を探してみましよう（印刷ではわかりにくいかもしれませんが）。

綺羅星・星座図鑑

オリオン座 (Orion) と さそり座 (scorpius)

どちらもプトレマイオスの 48 星座に含まれる古くからある星座です。

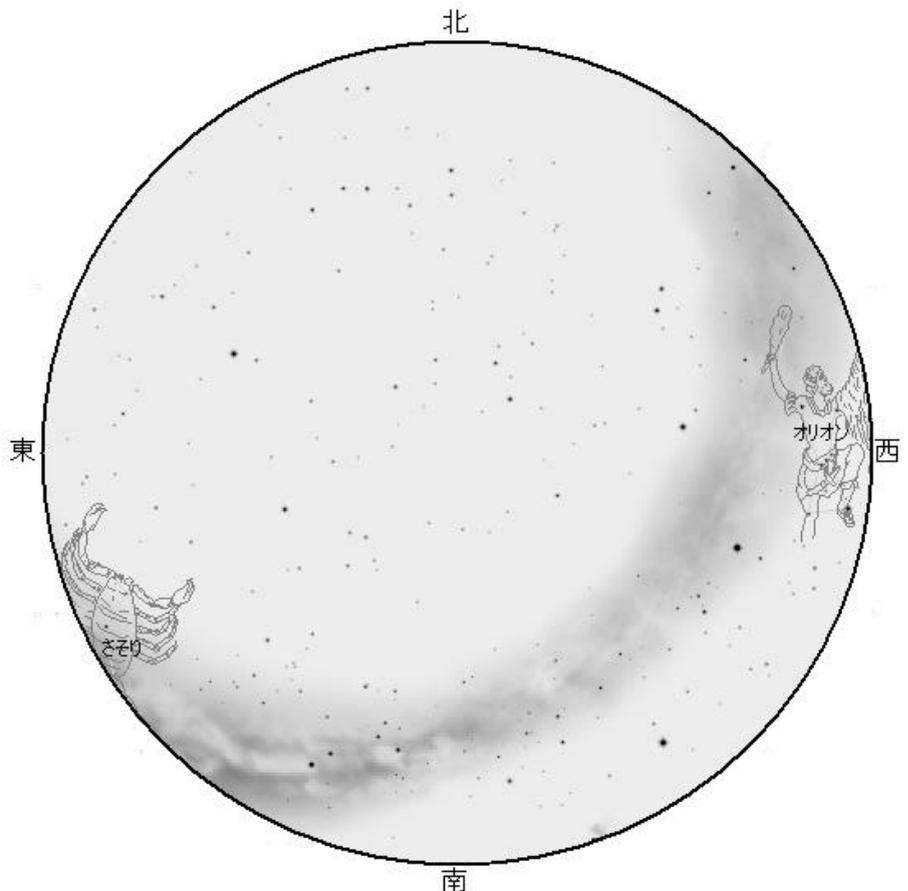
まず冬の代表的な星座のオリオン座ですが、星座の名を知らない人でも、このオリオン座と誕生日星座はたいてい知っているでしょう。

オリオンは海の神ポセイドンとアマゾンの女王エウリュアレの間に生まれた子で、背が高く顔立ちの良い美男子で、水中でも水面でも歩くことができました。狩猟の名人でその腕前は、オリオンの右に出るものはいないと言い、力自慢でもあったため『この世で自分より強いものはいない』と豪語するほどです。

一方、誕生日の星座としておなじみのさそり座は、夏の代表的星座の一つで、大きなSの字形の星座です。夜空で見ると大きな釣り針のような形で、緯度の高い北海道では、さそりの尾が地平線に掛かって見え、クジラでも釣れそうな針です。

さて、冬のオリオンと夏のさそり。一見関係なさそうな星座ですが、ギリシャ神話ではさそりはオリオンの天敵と語られています。『この世に自分より強いものはいない、このこん棒にかかってはどんな獣もいちころだ』と豪語するオリオンを、妬ましく思っていた女神ヘーラは激怒し大サソリをオリオンのもとに放ち、オリオンの足をチクリと刺しました。さすがの強者オリオンもその毒に全身が麻痺しあえなく死んでしまったのです。

ヘーラはサソリの働きをたたえ星座にしたということです。一方のオリオンは冬の星座となっていて、サソリが苦手になったオリオンは、さそり座が出てくるとあわてて西の地平線に沈んでしまい、両者が一緒に見られるのはオリオンが西に沈むころのわずかの時間しかありません。また、オリオンが東の空に見えてくるのは、さそり座が西に沈んだあとです。

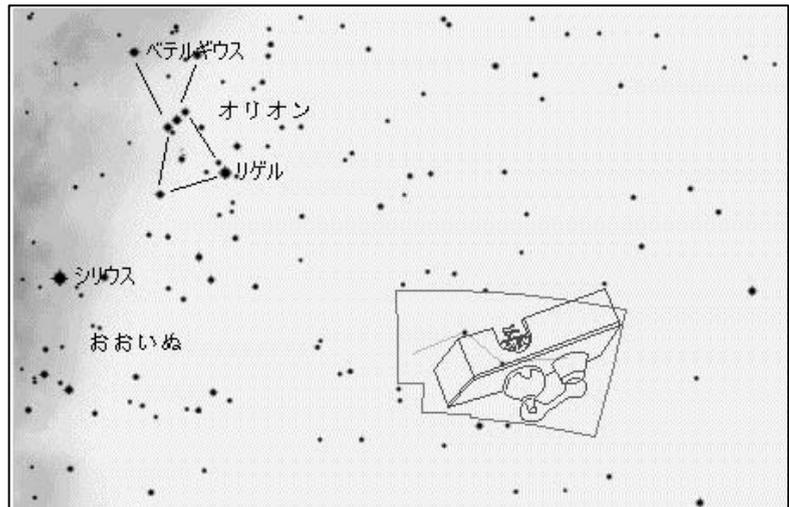


オリオンには足元のリゲルと肩のベテルギウスという二つの 1 等星が、さそり座にはアンタレスがあります。ベテルギウスとアンタレスは赤色超巨星という赤い巨大な星で、その大きさはベテルギウスが太陽の 700 倍、アンタレスは 230 倍もあります。これだけ大きいのは共に寿命が近づいたため、おそらくどちらも 5 億年以内に爆発するでしょう。そうすると星座の形も変わって地味になるかも知れませんが、その前に全ての星座の形が変わっているし、そもそも人類が生存しているかどうかもわかりません。

炉座 (Fornax)

る座は星座づくりが盛んだった 18 世紀にラカイユが作った新星座の一つです。炉というと暖炉や溶鉱炉のようなものを想像させますが、星座になった炉は化学実験用の炉で、もともとは『化学実験炉座』として設定されたのですが、後に短縮されて『炉座』となりました。

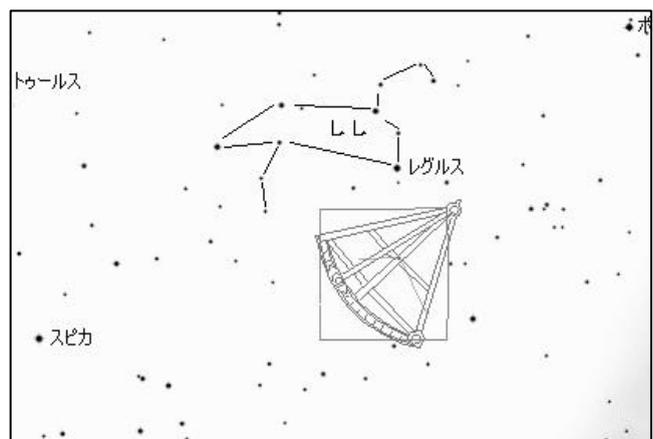
オリオン座の南西で、間にエリダヌス座があり、季節では秋と冬の橋渡しの場所になります。明るい星でも 4 等星が 1 個と 5 等星が 1 個、他はそれ以下の暗い星ばかりで、北半球では逆さまになっているので、炉の姿を想像することさえ難しいです。



六分儀座 (Sextans)

17 世紀にヘベリウスによって制定された星座です。星座になった六分儀はラカイユが長く愛用していた、天体の位置を測定する器械です。1679 年にヘベリウスの自宅が火事になり多くの器具やデータが焼失してしまいました。そこで長く愛用してきた六分儀を、今度こそ災難に遭わないようにと願って星座にしたということです。

星座はしし座のレグルスの真南にありわかりやすいですが、星座の形はヘベリウス自身あまり考えていなかったようで、星を結んで六分儀を想像することは困難です。



「My Stars 通信」の天文図は StellaNavigator6(ASCII / AstroArts)を使用しています。

綺 羅 星 列 伝

皆様からお寄せいただいた星物語の一部をご紹介します。お寄せいただいた物語はしょさんべつ天文台にあります。いつでも閲覧できますのでお立ち寄りの際はご一読ください。

星の名前 : **Everlasting Love 2005**

恋人でも家族でもありませんが、とても大切に想っている人がいます。近くに居る訳ではありませんが、長い間、私を応援してくれたり励ましてくれたり、心の支えになってくれている人です。ある日、その人が色々な事に疲れ、道に迷っているように見えました。私は、その人のためなら何でもしてあげたいと思っていますが、残念ながら私にできることは、その人の幸せを祈ることくらいです。

それで、私は、その人のお誕生日に星を登録しました。「Everlasting Love 2005」はその人と私が好きなアーティストが歌っている歌の名前です。

その人がいつか「Everlasting Love 2005」を見つかる事ができるように……。道に迷った時道しるべになるように、願いを込めて……。そしていつか私たちのやりとりが途絶えても、宙を見上げ星を見た時、「あの頃は楽しかったな」と思い出せるように。

この星が寂しい星にならないように、私はこれからもその人の幸せを祈り続けていきたいと思えます。私にとっては、その人への想いこそが「Everlasting Love 2005」なのだろうと思いません。永遠に……。

星の名前 : **Chie.Y's *”Star**

今の私の気持ちを捧げます。

史くん、君は渴ききった私に潤いを与えてくれたよ。

ただただ、前に向いて、わき目もふらず一生懸命進み続けてきた私に、少し立ち止まって、休む事の大切さを教えてくれました。今まではきっと美しい物があっても気づかずに通り過ぎてしまってた。史くんはそんな私に足もとに咲く美しい花がある事や、上を見上げると青く澄んだ空がある事を教えてくれた。それを知ってから私は本当にかわりました。ううん、本当の自分を見つけたの。遠い昔においてきた宝箱を開いた気分です。

本当に自分がしたかった事や、好きだった事、そんな気持ちを思い出しました。史くんはなんだかいろんな色を重ねて、重ねて、ぬられた私をすべてきれいに洗い流して、本当の色（私）を見つけてくれた。私を私に戻してくれた。今となっては史くんは本当に大切な人、最愛の人、なくてはならない人になってる。私の心の中、ううん、身体中が史くんって感じで史くんを求めているの。史くんを抱きしめられるだけで、身体の中のイヤな事すべてが「スーッ」って抜けていってしまうの。最近、史くんの香りだけで胸がジーンとしてくるよ（笑）。でもそんな2人の引きよせ合う

心とは別に、現実の世界では祝福されない2人だから。そんな2人だから史くんは、私にこのプレゼントを渡してくれたんだよね。これをもらってからの私の気持ちは大きく変わったの。史くんの星のすぐそばで私の星が輝いている。史くんのそばで私が輝いていける・・・星は永遠で、私たちも永遠に輝いていける2人の思いと同じように・・・と思うとすごく強くなれた。離れて、淋しくて、たまらなくても、史くんが「」を見

て！」って言うと本当に史くんをそばで感じる事ができるようになった。

史くん、私を愛してくれてありがとう。

この先2人がどんな形であったとしてもいつか2人でこの星を見たいですね。

ちえ

星の名前 : horijiji family

8.27-「お父ちゃんは、お星様になりました。」

あれから10年が経ちます。10年経ってお父ちゃんは「お星様」になりました。

誰にも何も言わず、本人さえ気づかないままの突然の旅立ちでした。

運命だ。寿命だ。と言えばそれまでですが、残った家事も本人も納得のいかないまま時間だけが過ぎていきました。お父ちゃんとの時間はあの時から止まったままの気がします。でも、いつも思ってきたのは、お父ちゃんの声が聞こえず顔を見る事は出来ませんが、毎日同じ家で一緒に暮らしているんだ。と言うことです。たぶんお父ちゃん自身が今でもそう思っているはずですが、だから写真のお父ちゃんはいつもニコニコ笑顔でいます。

お父ちゃんとの時間は止まったままですが、お父ちゃんの廻りは相変わらず賑やかです。

悲しい事ばかりではありません。新しい家族が増えました。「龍飛」「綾音」「絵梨ちゃん」「陸人」大切な大切な宝物が増えていきホリジジファミリーは世界一のお金持ちになっていきます。愛情という宝物です。それはお父ちゃんの残してくれた財産だから、私達ホリジジファミリーの1員はそれぞれ宝物を守ってさらに増やしていく義務と責任がありますよね お父ちゃん……。する

とお父ちゃんの声が聞こえます。「そんなに堅苦しく考えなくてもいいんだ。」「まずは1杯飲み康彦(焼酎お湯割!)」「やっぱり、お父ちゃんにはかなわないなー」「そうだろ、アッハッハ!」お父ちゃんのことを思い出すと、最初に笑顔になり明るく元気になり、最後は涙が出てきます。

相変わらず不思議な魅力を今でも持ち続けている、不思議な人です。

お父ちゃんの残してくれた「言葉」があります。

平凡に生きる事が1番難しい

ずっと心に留めておきましたが、最近になって分った事があります。「平凡に生きる」とは「当たり前前の事を当たり前にする。」という事だ!と気づきました。10年経ってようやく理解できた。これもお父ちゃんの残してくれた財産です。お父ちゃんありがとうございます。そしてこれからは私達ホリジジファミリーを見守ってください。時間や場所を飛び越えて「ファミリー」は皆いつも一緒だからねお父ちゃん!

お父ちゃんの写真がまた笑った気がします。

星の名前 : **IZUKI**

この星は私の亡くなった息子の名前をつけました。わたしには2人の子供がいるのですが、上の子と下の子の間にこの子がいたのです。しかし、4ヶ月の時に乳幼児突然死症候群という病気であつという間に空へ旅立って行ってしまったのです。朝は元気に寝返りしていた子がお昼には死んでいるなんて…。とても信じられなかった。2年前の事なのに今でもはっきりと思い出されるのです。

しかし、神様はいたのでしょうか？すぐに3番目の子を授かり今まで大事に育ててきました。まるで生まれ変わりの様な思いを抱かせるかの様に…。でも、何か心の中だけではずっと形に残したかったのです。残されたこの子たちや私を含めていつでも見守ってくれるのだ、辛い時は何処にでもいてくれるのだと大きな支えでいてほしいと切に思っていたのです。

そんな時このシステムがある事を知ったのです。現実に至るまでは迷いもあったけれど、やっこの場で「想い」が形になったんだなと実感しています。そして良かったなと思っています。

今は母子家庭となり必死でこの子たちと暮らしている中で、何かあった時は親子で空をながめて空と陸と一緒に会話したいと思っています。そしてこの星を贈ってくれた人はそんな私たちをずっと側で見守ってくれて支えになって自分の子供でもないのに私たちを含めて家族でいたいと一緒に考えてくれる大事な人です。まだ事情があって家族にはなれないけれど、将来ずっといられる様にと亡くなった息子に誓えたらと思っています。

星を贈ってくれてありがとう！

4ヶ月しか地上にいられなかったけれど今は一緒だね！あなたは短い命で私たちに沢山の事を教えてくれたね。人生色々あるけれど生きて

るだけで素晴らしいんだと。一秒たりと無駄にはいけないから一生懸命笑顔で過ごせるだけでいいんだよと…。

あなたと一緒に私たちも頑張るからね

今度は紗朋と葵早という2人の姉妹も稜生の近くにいられるようにできたらいいな…

P.S 稜生へ

あなたがここに居る、それだけで私たちは心強いのです。どうか私たち家族を見守っていて下さい。私たちが困ったら皆でお空を見るから…。稜生が教えてくれた事を思い出してみるから。あなたはずーっと私たちの家族だからね ^o^V

私には、とても大切な心と笑顔があります。それは、彼女たち家族の心と笑顔です。私は、彼女たち家族と出会った時から何か変な感じをいただいていた。何だか心に穴があいているような感じをいただいていた。この感じは何だろうと考えていました。そんな時、彼女に息子がいる事を知り、その息子は4ヶ月しか人生を歩めなかったことを知りました。心の穴は、最愛の息子ではないかと感じ、どうしたら、その心の穴をうめることができるだろうと考えましたが、息子の稜生がもどってくることはない…。もどってはこないけれど、少しでも彼女たち家族の側にいさせたい、心の穴を少しでもうめたいと思っていました。そんな時、このシステムの事を思い出しました。色々迷いましたが、彼女たち家族が笑顔でいられるように、ここの穴が少しでもうまるようにと思い送りました。今

は、送ってよかったと強く感じています。彼女たち家族に笑顔が増えたと感じられるから…。

稜生へ

あなたの歩んだ4ヶ月はとても短いかもしれな

い。だけど、とてもすばらしく幸せな人生だったと思うよ。あなたは、お星様になってしまったけれど、いままで通り、お母さんを、お姉ちゃんを、妹を、お空から守ってあげてください。私は、お

母さんたちを陸で守っていくから。一生かけて守っていくから……。

星の名前 : **Puu**

Puu、あなたの星の名

ぷうくんがうちの子になって私たち家族のかけがえのない存在だった証にこの星を捧げます。その小さな体で私たち家族に数え切れないほどの幸せをくれました。

ぷうくん、シーズー、男の子、14才7ヶ月でそっと旅立ちました。ぷうくん、今どこにいるの？

あの日平成17年9月13日午前4時50分、あなたは一人で旅立っていきました。

いつかは来る日と覚悟はしていました。

命ってこんなに儂いものなのですか？

こんなに悲しいのに、こんなに寂しいのに、あなたがお母さんを探しているのではないかと心配なのに。それなのに、お母さんはあなたに付いていてあげることができない。ごめんね。

もしかしたらまた元気になれるかもしれないと思いつつ看病した3週間でした。

ぷうくん、小さな体でよく頑張ったね。

今はもう苦しくないんだよね。

亡くなる前の日、お母さんはぷうくんに言ったよね。

ぷうくん、お母さんは大丈夫だから心配しなくていいよ。

もう頑張らなくてもいいよって。

ぷうくんはお母さんのその言葉を待っていたかのように逝ってしまったよね。

ごめんね、お母さんのことを心配して頑張っていたの？

ぷうくん、お母さんの子になって幸せだった？

うちの子になって幸せだった？

お父さんもお兄ちゃんたちも、ぷうくんのこととっても大切に思っていたんだよ。

みんなぷうくんのいる生活をとっても大事にしていた。

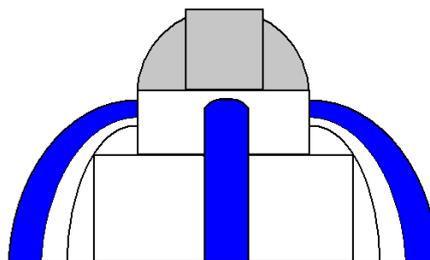
ぷうくん、もし生まれ変わることができるなら、どうかお母さんを探してまたうちの子になって下さい。

お父さんもお兄ちゃんたちも待っているよ。

またうちの子になってみんなで楽しく暮そうよ。

大切に大切に作るから。

ぷうくんお願い、お母さんを探してまたうちの子になって……



こちら情報室

天文情報（12月～5月）

流星・彗星

12月14日を中心に1週間くらいふたご座流星群が見られます。この流星群は毎年見られる3大流星群の一つですが、今年は満月近い月があり悪条件なのが残念です。ほぼ一晩中見られるので月明かりを避ける意味で建物の影から見るといいでしょう。放射点は真夜中過ぎには頭上高くなります。また、1月4日の未明にはりゅう座流星群が見られます。こちらは新月直後ということで、月明かりもなく絶好の条件です。多い時で1時間あたり100個以上、普通は50個程度です。りゅう座群の放射点は未明に北東の方向です。

彗星は5月にシュワスマン・ワハマン3彗星が地球に接近し肉眼でも見えるという予想が出されています。

日食・月食・星食

残念ながら日本で見られるものはありません。

惑星

水星：2月24日と6月21日に夕方の空で最大離隔になり、条件はまずまずです。

金星：年末までは宵の西空に見え12月9日に最大光度、来年は明け方の空で2月18日に最大光度、3月25日に最大離隔になります。

火星：10月30日の接近後徐々に遠ざかり、しばらくは宵の空に見えますが、小さくなるので小型の望遠鏡で模様が見られるのは1月いっぱいまで終了、次回は2007年10月ころから見やすくなります。

木星：来年5月5日に天秤座で衝を迎え10月上旬まで見られます。

土星：来年は1月28日にかに座で衝を迎え、6月末まで見えます。環の傾きも少し小さくなってきました。

[連絡事項]

住所・氏名が変更になりましたらご一報ください。星物語はいつでも募集しています。郵便、E-mailどちらも受け付けますので、お気軽にどうぞ。

登録番号7275番までの方は22号をもって「MyStars通信」の郵送を終了します。継続の連絡を頂いている方には引き続き郵送します。今後も郵送を希望される方は連絡下さい。なお、通信は天文台のホームページでも見ることができます。

[編集後記]

2005年10月末現在の登録者数は7449名です。

今年は全国的に地震、台風、大雨などによる被害が多かったようですが、初山別では大きな自然災害もなく穏やかでした。今年の天候は春に猛暑？7～8月はジメジメ、9月は晴天、10月は何となく霞んだ空といった感じです。初雪は10月23日でした。この夏は見やすい惑星がなく気の抜けたサイダーのようでしたけれど、10月30日に火星が2年ぶりに接近したため接近前から何度か夜更かし、早朝観測をしました。まだまだ若い（つもりでいる）編です。

編集・発行 初山別村教育委員会社会教育係 〒078-4421 北海道苫前郡初山別村字初山別 155-1

天文台ホームページ URL=<http://www.hokkai.or.jp/shosanbe/>

E-Mail 教育委員会 shkyoiku@saturn.plala.or.jp しょさんべつ天文台 shosanbe@hokkai.or.jp